

岩手県における乳用牛群検定成績（平成元年成績から）

（畜試 乳牛部）

1. 背景とねらい

牛群検定成績の活用については、従来からその必要性がさげばれているが、データ管理及び処理の大変さから思うに任せないでいた。最近、家畜改良事業団から、県内の牛群検定データがフロッピーディスクの形で提供されたので、データ活用の一助として取りまとめ、参考に供する。

2. 技術の内容

1) 提供データの年次：平成元年（11,267頭分）

2) データの内容：検定終了牛データ
月間農家累計データ
年間検定成績データ

3) データ取りまとめ内容：

検定終了牛データ

・305日検定成績

乳量、乳脂率、蛋白質率、SNF率、乳量階層別成績、平均体重、濃厚飼料給与量、乳飼比、飼料効果、乳代－濃厚飼料比、種雄牛別検定成績及び検定娘牛頭数、乳量上位100頭番付、平均産次及び平均月齢

・補正成績（産次、分娩時期による）

乳量、4%FCM、

・搾乳日数及び乾乳日数

・分娩間隔

月間農家累計データ

・濃厚飼料単価の推移、濃厚飼料給与量の推移、経産牛1日1頭当り乳量の推移
搾乳牛1日1頭当り乳量の推移、乳価の推移

年間検定成績データ

・年間泌乳成績

乳量、1日1頭当り乳量、乳脂率、蛋白質率、無脂固形分率、4%FCM

・年間繁殖成績

平均乾乳日数、平均産児、平均空体日数、平均授精回数、平均分娩後初回授精日数、平均初回授精月齢

4) 検定終了牛の成績

- ・305日乳量に関しては、県平均が7,306Kgであり昨年度の成績に対して46Kg増に留まった。組合別では雫石町乳牛改良検定組合が最も高い成績（7,835Kg）であった。
- ・乳成分に関しては県平均乳脂率3.83%、県平均無脂固形分率8.61%、県平均乳蛋白質率3.08%であった。組合別では葛巻町第1、第2牛群改良検定組合が平均乳脂率が4%を上回っていることが特筆される。
- ・飼料給与指標に関しては、県平均濃厚飼料給与量8.1Kg（頭/日）、県平均乳飼比18.8%、県平均飼料効果2.93、県平均乳代－濃厚飼料費541円であり、濃厚飼料給与量、乳飼比の平均は北海道と同水準となっている。
- ・産次に関しては県平均2.79産であった。
- ・繁殖成績に関しては県平均分娩間隔405日、県平均乾乳日数71日であった。

5) 月間累計成績

- ・濃厚飼料単価の月別推移は県平均で45～47円の間であった。
- ・乳価の月別推移は3～7月までは90円を下回った。

6) 人気種雄牛と娘牛平均乳量

岩手県の交配種雄牛使用頻度20傑				
番付	種雄牛略号	例数	平均乳量 (Kg)	標準偏差 (Kg)
1	J-66	436	7,865	1,426
2	H-245	343	8,079	1,621
3	H-243	296	7,949	1,390
4	HB-56	229	8,612	1,499
5	H-288	196	7,949	1,304
6	P48-27	185	7,442	1,347
7	HB-53	151	7,514	1,391
8	H-246	150	7,458	1,338
9	H-507	141	8,333	1,755
10	51-19-N	137	7,321	1,242
11	H-302	123	8,351	1,644
12	HB-50	106	7,656	1,523
13	HB-59	104	7,955	1,628
14	HB-51	102	7,033	1,188
15	53-15-N	101	8,022	1,606
16	HB-78	92	7,859	1,419
17	49-19-N	90	7,385	1,269
18	H-310	88	8,190	1,480
19	HB-72	84	7,802	1,457
20	P49-05	81	7,446	1,309

3. 指導上の留意点

取りまとめは、家畜改良事業団から提供された平成元年の岩手県内のデータを用いて行った。内容の詳細は、「岩手県における乳用牛群検定成績（平成元年成績から）」（岩手県農政部畜産課）の通りである。

4. 参考資料

岩手県における乳用牛群検定成績（昭和58年～60年成績から） 岩手県農政部畜産課

5. 関連試験課題名

乳用牛群検定普及定着化事業